

市民意見・関係者ヒアリング結果について(経過報告)

1. 本市ホームページに寄せられたご意見

- 仙台市ホームページ「音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設の検討状況」内に受付フォームへのリンクを設置し、令和4年8月31日より、意見を募集している(令和5年3月10日時点の累計64件)。

【主なご意見】

- ・中心部震災メモリアル拠点では、発災時のことだけでなく、復興過程も取扱い、次の被災地の復興に役立ててほしい。また各地の復興を学ぶ、ハブとしての役割を持てると良い。
- ・大ホールにパイプオルガンを設置してほしい。
- ・集客や大規模オケ等の招致のため、力のあるアドバイザーを起用すべき。
- ・多くの市民がステージに立てるよう、ソフト事業の実施やアマチュア団体等への支援などの検討をはじめてほしい。長期的視点で取り組んでいけば、実が伴った「楽都」として国際的にも注目される可能性は十分あると思う。
- ・人材確保やチームの活動を早期から、かつ継続性をもって行っていくことが必要。
- ・「音楽ホール」と「メモリアル拠点」両輪に動力を送る、新たな組織またはチームが必要。
- ・世界に目を向けた創造・発信のためには、レジデンス(滞在)機能の整備を検討してもらいたい。

2. 在仙放送局・新聞社の文化事業を手掛ける部門へのヒアリング

在仙放送局・新聞社の文化事業を手掛ける部門にヒアリングを実施し、複合施設に求めることや、検討を進める上で重視すべきことなどを伺った。

【ヒアリング実施団体】(順不同)

- ・NHK仙台放送局 ・東北放送株式会社 ・株式会社仙台放送
- ・株式会社東日本放送 ・株式会社宮城テレビ放送 ・株式会社河北新報社

【主なご意見】

- ・大ホールは使用する座席数に応じた段階的な使用料設定があれば、一定の利用が見込まれる。
- ・300~500席の小ホールは、商業公演にとっては座席数が足りない。
- ・施設の予約については、利用希望者が集まって直接調整できるような方式にしてほしい。
- ・芸術監督にネームバリューのある人を起用することで、力を入れてやっていることが外向けにアピールできるのではないかと。
- ・中継車等を置けるスペースがあるとよい。
- ・空いたトラックを仮置きできるスペースがほしい。規模が大きいものでは大型トラック10台を必要とする場合もある。他に駐車場を借りる必要がある施設は、会場として選ばれにくくなる。
- ・収録をする場合、劇場内のケーブルの取り回しに苦勞するケースが多い。あらかじめそれを想定した設計としてもらいたい。
- ・座席の間隔は広めにしてほしい。市内の既存のホールは昔の日本人の体型に合わせて作っているため狭く感じる。
- ・客席の床は材質もよく検討してほしい。板張りだと足音が気になる。

3. 障害者芸術関係者からのご意見

障害者の文化芸術活動支援など、文化芸術による社会包摂に取り組む団体の代表者からお話を伺った。

【主なご意見】

- ・例えば、複合施設内に音楽教室を作り、ハンデのある子が仙台フィルの楽団員に楽器を教われるようにすると、本人にとってもその施設が自分の居場所になるし、親も気兼ねなくコンサートに行けるようになる。そのような光景がいつも見かけられるような仙台市になってほしいし、それは大きなアピールにもなるはず。
- ・これまでも仙台フィルをはじめ、障害者への活動は様々あったが、多くが単発のものである。ルーティンとして行うことで、子供たちの中に根付く。
- ・障害児の親が躊躇しない、遠慮しないで出入りできる施設になってほしい。
- ・市内の施設は予約が全然取れない。そういう意味では、我々のような団体が主に使用するような小ホールがひとつだけなのは残念だ。